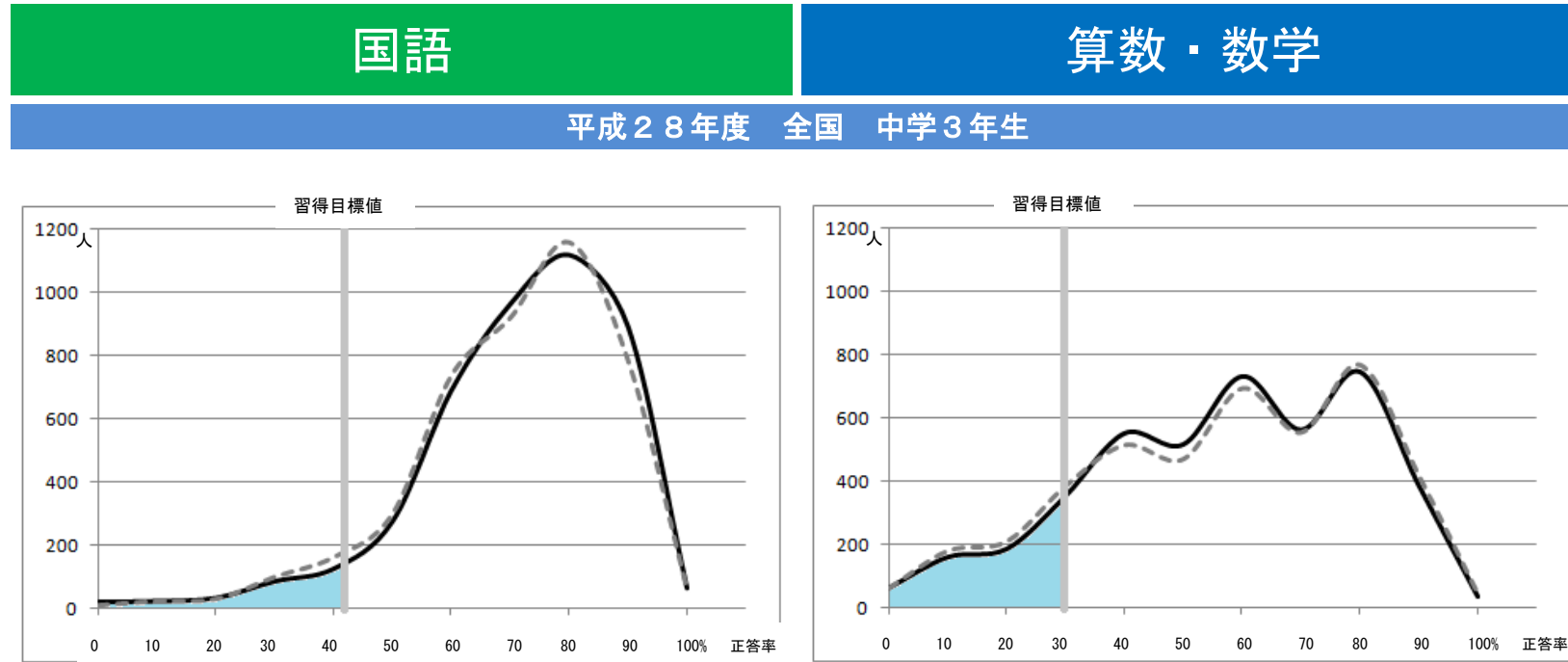


1 経年による習得目標値未達の児童・生徒の推移

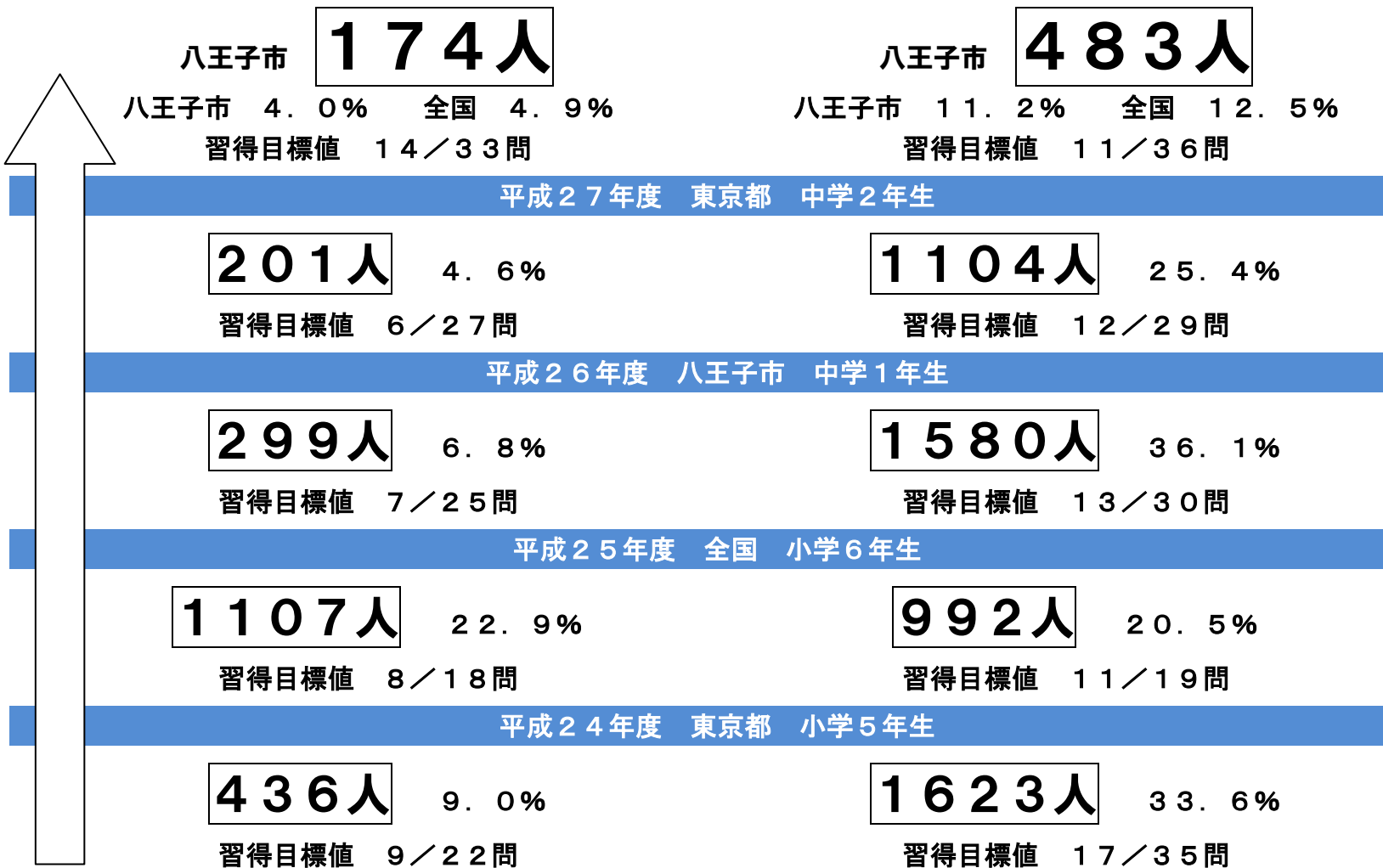


- 国語、算数・数学ともに小学校 5 年生の習得目標値未達の児童の人数が中学 3 年生段階において減少している。
- 国語においては、習得目標値未達の児童が小学 6 年生段階で 1 次的に増加するものの、中学生に進学後減少している。
- 算数・数学においては、習得目標値未達の生徒は中学生に進学後 1 次的に増加するが、その後減少している。

【習得目標値】

→東京都学力調査において設定された教科書例題レベルの問題を基に、八王子市独自に設定した基礎・基本の定着を確認する問題の正答数

例) 平成 28 年度八王子市学力定着度調査 小学校 4 年生 算数 より
小麦粉が 1 kg 500 g あります。800 g 使ったとき、残りの小麦粉の重さは何 g ですか。単位を g にそろえて、求める式と答えを書きましょう。



2 今後の方向性

◎教員の授業力の向上

- 教員一人一人の授業改善に向けた教員研修を行い、児童・生徒が主体的・対話的な学習に取り組む指導の充実を図る。
- 指導主事の学校訪問により教員の実態や課題を把握し、改善すべき点について具体的な指導・助言を行う。

◎小中一貫教育の充実

- 個別の児童・生徒の学習状況や目標を小・中学校の教員が共有し、各校における取組の充実を図り、中学 3 年生までに生徒一人一人の目標を達成させる。

◎八王子市学力定着度調査の改善と充実

- 児童・生徒の基礎・基本の学力の定着度を把握することのできる調査に改善する。

◎八王子市版ベーシックドリルの作成

- 小中一貫教育学力向上施策推進委員会の国語部会、算数・数学部会において全ての児童・生徒に解けるようになってもらいたい問題の練習問題を作成し、児童・生徒の学力の向上を図る。

◎個に応じた指導の充実

- アシスタントティーチャーを活用し、少人数学級集団による指導を充実させるとともに、ICT機器の配置を行い、きめ細やかな指導の充実を図る。